



受 琴 建 第317号
平成20年10月17日

国土交通省 道路局長 様

鳥取県東伯郡琴浦町大字徳万
琴浦町長 田 中 満 雄



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

貴職におかれましては、道路行政推進にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました、「今後の道路行政についての意見・提案」につきまして別紙により回答いたします。

道路整備の遅れています山陰地方に「光の見える道路中期計画」となりますようお願い申し上げます。

日本海国土軸が叫ばれてから何年経過したであろう、希望を持ち今後の発展に期待したものであるが、道路特定財源の一般財源化によって無残に砕け散った感が拭いきれない。

地方には道路がいらないと訴える人たちがいるが、自分の所は整備されていればよいのだろうか。

日本の均衡ある発展には道路網整備が必要不可欠であり、信頼性の高いネットワークが構築されてこそ、山陰地方は遅れさせながらスタートラインに立つことが出来るのだ、しかし一本しかない山陰の動脈国道 9 号は集中豪雨・積雪・事故などによって通行できない時間帯が多く見受けられる、これでは企業誘致・観光面で支障をきたすこととなる。

時間の読める安心・信頼性あるネットワークが構築されることにより地方も変わってくる、その一つの例として昨年山陰道の淀江名和間が開通したことにより大山町に企業進出が決まった。高速道路の整備によって身近な距離になるためと聞いている、道路が出来たことでの経済的波及効果によるものであると確信する。

一日も早い山陰道全線開通、日本海国土軸の早期整備により日本海側の発展に期待している。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式２

鳥取県琴浦町

・現状 (高速道路網整備後進県) 県庁所在地に高速道路が整備されていない県「鳥取県」 (道路改良交付金補助率アップ) 地方財政は危機的状況にある、道路改良交付金の補助率を上げてもらいたい (橋梁の延命化対策の充実) 橋梁の調査、延命のための工事費に対する補助制度の充実と補助枠を拡大してもらいたい	・課題 地方の経済は右肩下がりの状況にある。 全国で一番人口の少ない鳥取県、物流・観光に影響があり活性化の糸口が見えない、早期の高速道路網の整備により、遠くに見えている鳥取県が、近くに見える鳥取県になるよう整備されたい。 補助金制度から交付金制度に変わり、事業できる範囲が広がってきているものの、財政危機の状況下では十分に取り組みない部分が多い、補助率のアップにより地方財政を援助してもらいたい。 橋梁も人間のように高齢化し、平成２５年までの調査完了が補助対象となっているが、１５ｍ以上の橋梁が対象であり、町の抱える橋は短いものもあり、全てを対象としてもらいたい。また、橋梁調査にも補助制度の創設を。
---	---

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式２

鳥取県琴浦町

・現状 (道路の管理補助制度創設を) 町の維持管理している町道補修にも補助制度を創設してもらいたい	・課題 町の抱える町道も老朽化が進んでいる、交付金事業の対象と ならない小額補修事業や、除草関係にも補助制度の創設を。
--	---

認知度の低い「鳥取県」

今まで忘れられたかのような「鳥取県」

県庁所在地に高速道路の無い「鳥取県」

人口減少が進む「鳥取県」

このような状況の中で、1つの町が飛びぬけて発展することは「困難」であると思います。

人口減少も進み、高齢化比率も高く、若者の働く場所も少ない状況を打開して行くには、高速道路の整備により企業誘致の促進を図り地元で就職できる環境整備が必要であります。

琴浦町は、平成20年4月から鳥取県大阪事務所に琴浦町大阪事務所を開設し1名の職員を配置し、大阪鳥取県人会などの協力を得て、京阪神の情報収集や交流事業を少しずつではありますが展開して企業誘致などを模索しています。姫路鳥取線も山陰道も開通していないので、まだまだ「琴浦町は遠くの町」に見えているのではないかと感じています。時間が読める安心・信頼性のあるネットワークの道路が出来てこそ「遠くに見えていた琴浦町が近くに見える」状況になるのではないかと思います。

「姫路鳥取線」「山陰自動車道」の早期完成により、陰の生活から日の当たる生活に展開できるよう、一般財源化された道路特定財源を必要な道路建設に向けて確保されたい。

また、地方道を含め歩道の整備、バリアフリー化、豪雨防災対策、交差点改良の遅れている箇所や、橋梁のマネジメント、道路ストックの整備等も考えると、道路財源確保と共に補助率のアップも必要です。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

鳥取県琴浦町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上に向けて	山陰道の淀江名和間の開通により岡山の企業が大山町に進出することとなった。	山陰は近くて遠くの地、山陰自動車道・姫路鳥取線開通による「身近な鳥取県」になることによって、時間の読める安心・信頼性のあるネットワークが構築されることにより「鳥取県は身近な地」になり企業誘致、観光産業の発展が図れる。	
人命を守る主要な道路建設に向けて	鳥取県中部は高度医療機関が無く、鳥取・米子に転送している、琴浦町は救急救命士の要請により救急車に赤碕診療所のドクターが乗り込み治療をしながら搬送している。	一刻を争う病状の場合、早期の搬送によって命を救える場合が多いが、鳥取県中部から鳥取・米子まで相当な時間を要する、山陰道の早期完成により多くの人命を守ることが出来る。	